

記名 ()

1. 食、養育及び保育の基本と目標

	設問			
	A	B	C	D
1 幼稚園、保育所、認定こども園に関する法令を読み、内容を理解していますか。				
2 「保育要領」「保育指針」「教育・保育要綱」を読んだことがありますか。				
3 乳幼児期の教育及び保育は、人格形成の基礎を培う重要なものであることを理解していますか。				

(1) 教育、及び保育の配慮

4 登園時、こどもの健康観察を行っていますか				
5 こども1人1人に、分かりやすく温かな言葉でやさしく話しかけていますか。				
6 登園時、泣く子どもに対して、放っておいたり、叱ってしまうことがないようになっていますか。				

(2) 環境支援

7 子どもの中に感染症は発生した時、発生状況や予防対策などをすぐに全保護者にお知らせしていますか。				
8 疾患のある子どもに対して、園医やかかりつけ医からの指示に基づいて対応をしていますか。				
9 子ども体調が悪くなった時、保護者をはじめ園医やかかりつけ医と連絡をとるよう心掛けていますか。				
10 子どもが活動しやすいように、保育室の換気、湿度、気温に配慮していますか。				
11 日常生活での活動・発達の状況や家庭での十分な睡眠や健康的な生活リズムを身に付けるよう、保護者と連携に努めていますか。				
12 不登校が園内に侵入した際、どのように対応するのか理解していますか。				

(3) 食育

13 子ども体調に、食事の量を調整したり、食べ物を残したり、偏食したりするときは、やさしく励まししながら、適度に叱らないように心がけていますか。				
14 園庭の食べ具合など、必要に応じて保護者に知らせていますか。				
15 子どもが楽しく食べることができるよう、食事の環境に工夫していますか。				
16 食物アレルギーのある子どもに対して、保護者、園医、かかりつけ医と連携して除去食を取り入れるなど配慮をしていますか。また、普通食と除去食が混雑しないように工夫していますか。				
17 障害のある子どもの保育について、園で定期的に話し合う機会をもったり、子どもに合わせた個別支援計画を立てていますか。				
18 保育、医療機関などの専門機関から、子どもの障害について必要に応じて助言を受けていますか。				
19 障害のある子どもの保護者と話し合う場を計画的に設け、連携がとれていますか。				

2. 発達、子どもの発達

20 子ども発達には、豊かな心情、意欲、態度を身につけ新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか。				
21 子どもの人権や1人1人の個人差を尊重して、保育をしていますか。				
22 子どもが興味や関心を示し、子ども自身が主体的に関われる環境を用意していますか。				
23 園の生活になじみにくい子どもに対して、1人1人に応じた適切な援助及び環境構成を行っていますか。				

第3章 「ねらい」及び「内容」

1. 保育内容「健康」

	設問			
	A	B	C	D
24 1人1人の子どもが明るく伸び伸びと遊べるよう、いつも見守っていますか。				
25 健康的な生活リズムを身に付けるよう、療育園と家庭が連携していますか。				
26 食事前や排泄後の手洗いを励行するなど、清潔の習慣が身につくよう保育をしていますか。				
27 生活に必要な習慣が身につくよう、家庭と連携に努めていますか。				
28 災害時に子どもが取る行動について日頃から訓練し、火事・地震以外の災害を想定した避難訓練も行っていますか。				

2. 保育内容「人間関係」

29 自分のことは自分でしようという意欲を持つよう励ましたり、見守ったり、その達成感を味わえるように励ましていますか。				
30 友だちと積極的に関わりながら遊び、喜びや悲しみを共感する機会を大事にしていますか。				
31 物事をじっくり考えながら行動できるように援助していますか。				
32 高齢者をはじめ、地域の人々などに親しみを持つような機会を保育に取り入れていますか。				

3. 保育内容「環境」

33 子どもが自然に観察したり触れたりする中で、その大きさ、楽しさ、不思議さなどに気付くように援助していますか。				
34 園生活の中で、自然や身近な事象に関心をもちことができるように、環境を工夫していますか。				
35 身近な動植物を飼育・栽培する中で、世話をしたりする体験を大切にしていますか。				
36 数値、図形などに関心を持つように、生活の中で数を数えたり、形を認識するなど工夫して保育をしていますか。				

4. 保育内容「言葉」

37 子ども発達や理解力、生活経験に合わせた言葉で保育していますか。				
38 子どもが分からないことを尋ねたりできるように、ゆったりとこどもの言葉を聞き応答する雰囲気をつくっていますか。				
39 「貸して」「いいよ」など生活の中で必要な言葉を知らせ、理解して使うことができるように配慮していますか。				
40 絵芝居や絵本、お話を通して、物語の楽しさや言葉のおもしろさに気付くよう心掛けていますか。				

5. 保育内容「表現」

41 歌う、体を動かす等、表現の楽しさに気付くよう援助していますか。				
42 日常の中で感動したことを伝え合ったり、豊かに表現できるよう援助していますか。				
43 子どもが様々な楽器に触れ、音楽に親しみをもち楽しめるように工夫していますか。				
44 自分のイメージを言葉や体の動きなどで表現したり、演じることを楽しむ機会をつくっていますか。				

第4章 低年齢児の保育実施上の配慮事項

1. 乳幼児の保育に関する配慮事項

45 服装や身支度などにも配慮し、自らの健康と清潔を心掛けていますか。				
46 室内の温度、湿度、換気をたえずチェックし、発育及び発達の状態を把握した上で、その状態を細かく観察していますか。				
47 1人1人のおむつ交換する度に、手洗いを徹底していますか。				
48心地良い睡眠が確保できるように、安心した静かな環境を心掛けていますか。				
49 床に誤飲しそうなものが落ちてしまいうちに、十分に注意を払っていますか。				
50 外遊びや身体を適度に動かす遊び、リズム活動、触れ合い遊び等を十分にこりれていますか。				
51 子どもの健康状態の急変に対応できるように園医やかかりつけ医、専門医と連携がとれていますか。				

第3章 指導計画の作成と内容の取扱い

52	基本的な生活習慣の習得については、子ども1人1人の発達過程に合わせ、無理なく行っていますか。				
53	子どもの手の届く範囲にあるものの安全性について、いつも確認していますか。				
54	自分でやり遂げる喜びや自信を持つことができるよう、配慮していますか。				
55	通園等で保育者や環境が変わる場合は、不安にならないように職員間で情報共有していますか。				

第4章 指導計画の作成と内容の取扱い

56	指導計画は「保育課程」などに基づいて作成し、1年に1回以上は確認する等の話し合いを行っていますか。				
57	指導計画に教育及び保育の期間や子どもの生活経験や発達等を考慮し、具体的なねらいと内容が設定されていますか。				
58	子どもの活動の展開に合わせて、援助の仕方が具体的に指導計画に書き込まれていますか。				
59	入園時期には、生活のリズムや安全性に十分配慮して、指導計画を作成していますか。				
60	日々の保育記録を子ども1人1人の発達を理解し、記録記入項目を立てていますか。				
61	あなたの保育の内容は、子どもの発達過程に合ったふさわしい活動や体験であると説明できますか。				

第5章 研修と自己評価

62	あなたは園の保育理念や基本方針を理解していますか。				
63	自己評価などで課題を見つけ、その課題解決のために計画的に自己研鑽していますか。				
64	「保育指針」や「教育要領」に、園の自己評価が努力義務などとして位置付けられているのを知っていますか。				
65	園の保育内容などについて自己評価の結果を公表するように努めなければならないことを知っていますか。				

第7章 子育て支援

68	子育ての悩み等を安心して話せるように、送迎の際、保護者と言葉を交わしたり、連絡帳で情報を交換したりするように努めていますか。				
69	保護者からの相談内容をあなた1人の問題にしないで、園全体で受け止めようとしていますか。				
70	地域の家庭と対象とする相談やあそび場の提供など、子育て支援のための園の取り組みを理解していますか。				
71	子育てについて地域の関係機関や団体などとの連携及び協力を図り、地域の人材の積極的な活用を図るように努めていますか。				
72	1人1人の子どもについて、虐待を見抜くことができるように配慮していますか。また、通告を行う園の体制を理解していますか。				

<今後に向けて>

- ① 指導計画を実施にあたって、職員間での共有や振り返りを重ねていく。
- ② 個別指導において、保護者との育ちを共有しながら必要に応じて専門機関と連携しながら保育を行う。
- ③ 身の回りの自然や数や形等に興味を広げられるような環境づくりを整えていく。